

広島かきへい死アラート（厳戒アラート発信）について

本年度の広島かきのへい死対策として、7月から、へい死リスクが高まると想定される場合には、海域毎（県内5海域）にへい死アラートを発信している。（警戒レベルは3段階「注意」、「警戒」、「厳戒」）

広島湾北中部海域の溶存酸素濃度が警戒レベル3（「厳戒」）の基準（2.0mg/L）を下回ったため、厳戒アラートを発信した。

1 発信日

令和8年9月9日（水）

2 発信したアラート

溶存酸素濃度 警戒レベル3（「厳戒」）

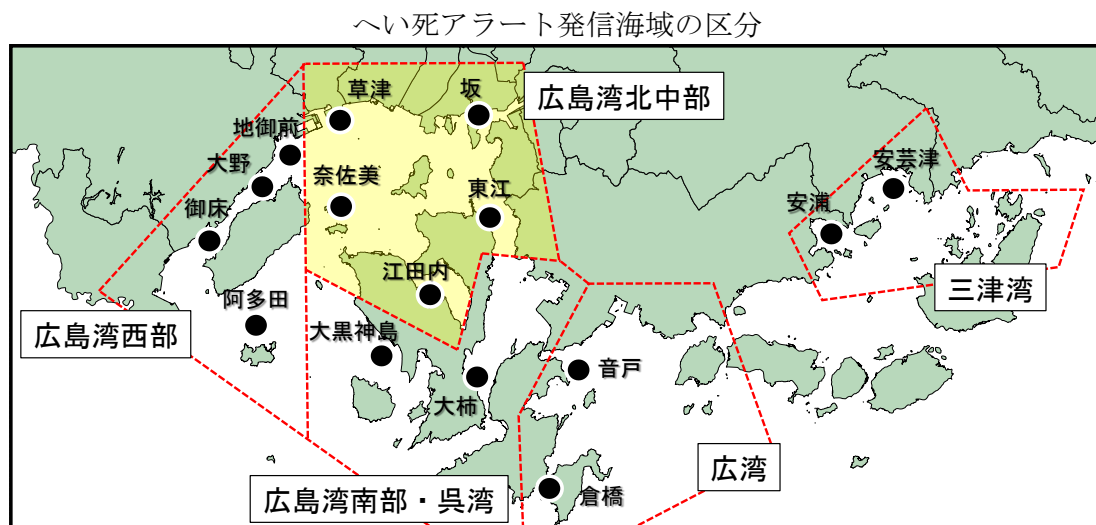
※ 参考

坂：9月7日に1.4 mg/mLを観測

溶存酸素濃度のアラート基準（溶存酸素濃度の日中央値）	
注意	2.9 mg/L 超 4.0 mg/L 未満
警戒	2.0 mg/L 超 2.9 mg/L 未満
厳戒	2.0 mg/L 未満

3 対象海域

広島湾北中部海域（草津、坂、奈佐美、江田内、東江） ※下線は溶存酸素濃度観測地点



「国土数値情報（行政区画データ）」（国土交通省）（<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2026.html>）を加工して作成

4 アラート発信状況（9/9 現在）

水温は、警戒レベルを維持しているが、広島湾北中部海域において溶存酸素濃度が基準を下回ったため、厳戒アラートを発信した。

海域	基準	7月17日	7月22日	7月29日	8月5日	8月12日	8月19日	8月26日	9月2日	9月9日
広島湾北中部	水温×身の状態	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
	溶存酸素（DO）	注意	リスク低	警戒	注意	注意	注意	注意	警戒	厳戒
広島湾西部	水温×身の状態	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
	溶存酸素（DO）	－	－	－	－	－	－	－	－	－
広島湾南部・呉湾	水温×身の状態	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
	溶存酸素（DO）	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低
広島湾	水温×身の状態	注意	注意	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
	溶存酸素（DO）	－	－	－	－	－	－	－	－	－
三津湾	水温×身の状態	注意	注意	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
	溶存酸素（DO）	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低	リスク低

5 へい死状況

現状では全ての海域において、大量へい死は確認されていない。

6 今後の対応

（１）巡回指導

・溶存酸素濃度の低下に伴う厳戒アラートを発信した広島湾北中部海域については、漁場の移動（溶存酸素の低い漁場にある場合は沖合の漁場への移動）、吊り手の引き上げ等の対策の早期完了を巡回指導する。

・その他４海域については、引き続き、水温の厳戒アラート発信時の対応について、指導を継続する。

（２）成育状況調査

・関係漁協にアンケート調査を実施し、定期的に成育状況の確認を行う。

・９～１１月に月２回、現地調査（海上）を実施し、各海域における成育状況を調査する。

(1) へい死対策の実施について【厳戒アラート時の対応】

対策の有無に関わらず、
自身の筏のかきを確認してください。

写真は8/16モニタリングより抜粋

水かき
または5g未満



身痩せ傾向または
5~10g

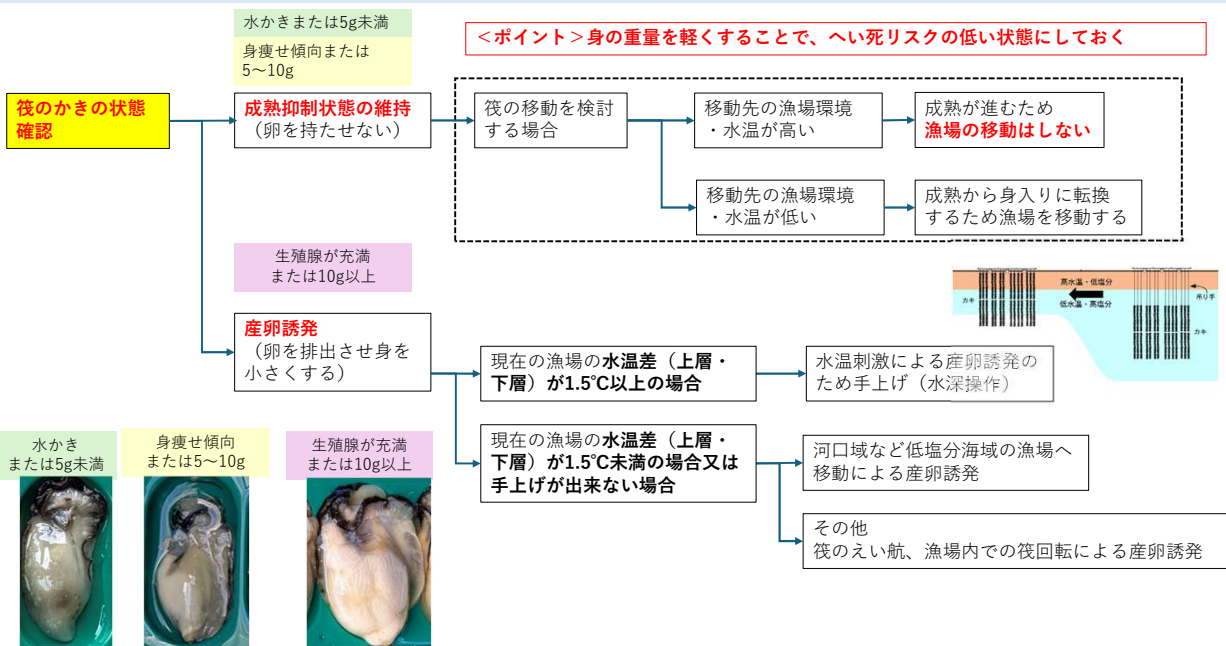


生殖腺が充満
または10g以上



ご自身のかきはどの状態??

(2) へい死対策の実施について【水温の厳戒アラート時の対応】



(3) へい死対策の実施について【移動・水深操作が難しい場合】

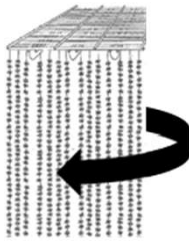
●移動させる場所がない・水深が浅い漁場

⇒その場でできる対策（手上げ、漕ぎ回し、干出等）

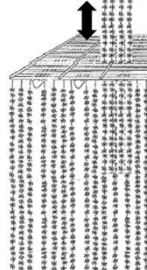
●産卵誘発リスク（物理的刺激によるリスク）の軽減

⇒物理的刺激を軽減した産卵誘発方法（筏の一部の手上げ、卵や精子の添加等）

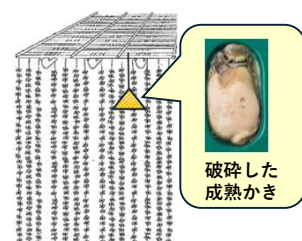
筏の漕ぎ回しによる産卵誘発



筏の一部を手上げすることによる産卵誘発



卵や精子の添加による産卵誘発



産卵誘発の目的：身の重量を軽くすることで、へい死リスクの低い状態にしておく

(4) へい死対策の実施について【溶存酸素の厳戒アラート時の対応】

●貧酸素回避時の留意事項について

▶ 溶存酸素（DO）リスク（09/08）

●坂 10m

厳戒 1.4 mg/L

7日最低 1.4

●草津 10m

厳戒 2.0 mg/L

7日最低 1.7

●江田内 10m

良好 4.8 mg/L

7日最低 4.8

●大柿 10m

注意 5.9 mg/L

7日最低 3.9

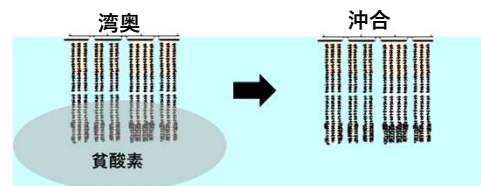
●安芸津 7m

良好 6.1 mg/L

7日最低 6.0

4.0mg/L以下 注意 / 2.9mg/L以下 警戒 / 2.0mg/L以下 厳戒

※DO 09/08の日中央値／測定水深は各10m（安芸津のみ7m）



貧酸素回避のための移動のイメージ

特に北部海域を利用される場合は行先の水温だけでなく、溶存酸素（DO）にも注目してください。